水土里ネット奈良

奈良の土地改良

発行：令和４年４月
奈良県土地改良事業団体連合会
奈良県橿原市城殿町４５９番地
TEL0744-29-1310
FAX0744-29-1312
https://www.naradoren.or.jp

「水が伝える豊かな農村空間」～疏水・ため池のある風景～写真コンテスト２０２２(ため池部門)
最優秀賞 『夜明けの詩』 伏見池（奈良県御所市） 芝﨑 静雄 氏

目 次

１．ご挨拶 奈良県土地改良事業団体連合会 会長 奥野信亮 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
２．令和３年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会 開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
３．公益財団法人 農業振興会館理事会・農業振興功績者表彰審査会 開催
４．第６２回 通常総会 開催 ・・・ 3
５．奈良県土地改良事業団体連合会 新役員名簿 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
６．土地改良事業に功績のあった方々に表彰状を授与しました！
７．公益財団法人 農業振興会館 令和３年度 農業振興功績者表彰式 開催 ・・・・・・・・・・・・ 5
８．令和４年度 奈良県農村振興予算の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
９．令和３年度 会計相談会・研修会 開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
１０．公益財団法人 農業振興会館 令和３年度最先端農業を学ぶセミナー 開催 ・・・・・・・・・・ １０
１１．土地改良区紹介 大和高原南部土地改良区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１
- 高収益作物の生産性向上と生産拡大、品質の向上を目指して -
１２．奈良のため池３作品が入賞しました。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３
「水が伝える豊かな農村空間」～疏水・ため池のある風景～写真コンテスト２０２２
１３．令和４年度 新組織体制・退職者の紹介・新規採用職員の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４

ご挨拶

奈良県土地改良事業団体連合会
会長　奥 野 信 亮

春の日差しが心地よい毎日ですが、会員の皆様方におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より当連合会の活動、運営につきましてご理解、ご協力を賜っておりますこと並びに農業農村整備事業の推進に多大なご尽力を賜っておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度も新型コロナウイルス感染症の急拡大や減少に翻弄された一年でした。コロナ株は新しい株への変異も言われ、第７波にもなりかねないなか、コロナとどう付き合っていくかの時代に入ったと思います。コロナがもたらした変化に対応していき、新しい試みや取組に挑戦していくことも必要だと思います。

この度の第62回総会において、私は会長に再任させていただきました。なお一層精励してまいります。男女共同参画社会の推進として女性の理事を初めて登用いたし、当連合会の更なる活性化を期待しております。昨年１２月に閣議決定された第５次男女共同参画基本計画では、土地改良区においても理事に占める女性割合を１０％とする数値目標が示されており、員外理事制度を活用した女性理事の登用等についてのご検討をお願いします。

近年の気候の変動による災害への迅速な対応も必要であり、今般土地改良法が改正され、今までは地震対策のみ農家の費用負担及び同意を求めないとしていた防災事業に、４月１日からは農業用用排水施設の豪雨対策が追加されました。また、昨年、奈良県が「奈良県ため池サポートセンター」を設置され、運営を当連合会がお受けしております。このセンターの更なる充実に努めてまいりますので、ため池のあり方の検討にもご利用していただきたいと思います。

国の農業農村整備事業関係予算は前年度を上回る4，468億円で補正予算の国土強靱化５か年対策・TPP対策等1，832億と合わせますと令和3年度と同じ6，300億円となります。これは現場の声を国政や行政に届けていただいた成果であると考えており、今年度も現場の声をしっかり聞かせていただき予算の確保や施策の拡充に努めて参りたいと考えておりますので引き続きのご指導とご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、コロナの終息を願い、会員皆様が取り組む土地改良事業が円滑に推進され農業農村地域が一層発展しますよう、さらには皆様お一人お一人のご健勝、ご活躍を祈念し、年度始めのご挨拶といたします。

令和３年度　奈良県土地改良事業団体連合会　理事会　開催

令和４年２月２２日(火)、大和平野土地改良区3階　理事会室において、令和３年度　奈良県土地改良事業団体連合会　理事会を開催しました。上田議長の下、議案が審議され、原案通りに承認を得ました。

議　　事

第１号議案　令和３年度会計収支補正予算の専決について
第２号議案　令和４年度事業計画について
第３号議案　令和４年度経費の賦課徴収について
第４号議案　令和４年度会計収支予算について
第５号議案　令和４年度役員報酬について
第６号議案　令和４年度一時借入金の限度額及び借入方法について
第７号議案　令和４年度金銭の預入先について
第８号議案　第６２回通常総会の開催について

挨拶
奥野信亮　会長(リモート参加)

来賓祝辞　乾 新弥
奈良県 食と農の振興部長

議長
上田 清　大和郡山市長

公益財団法人　農業振興会館理事会・農業振興功績者表彰審査会　開催

令和４年２月２２日(火)、大和平野土地改良区3階　大会議室において、令和３年度　公益財団法人 農業振興会館　理事会を開催しました。

開会に先立ち、令和３年９月２５日に逝去されました農業振興会館　小城利重副理事長の功績を偲び黙とうを捧げました。小城氏には農業振興会館の普及発展に多大なるご尽力をいただきました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

事務局　説明

奥野理事長ご挨拶の後、農業振興功績者表彰審査会を行いました。(公財)農業振興会館では、奈良県内において、農業技術の開発、農村環境の整備等に努め、その普及・教育に功績のあった個人、団体に対して農業振興功績者表彰を授与（P5-6）しています。本年度の表彰候補者について、事務局から説明し、審議の結果、表彰者を決定しました。

議事に入り、はじめに副理事長として理事の福井常夫氏を選定しました。福井副理事長は、「農業振興会館の普及発展、適正な管理運営、諸事業に対して、皆様のご協力を得ながら職務を全うしたい。」とご挨拶されました。
その後、議案が審議され、原案通りに承認を得ました。

就任挨拶　福井常夫　副理事長

議　　事

第１号議案　副理事長の選定について
第２号議案　令和３年度農業振興功績者表彰について
第３号議案　寄付の申し入れの承認について
第４号議案　令和４年度事業計画並びに会計収支予算について
第５号議案　令和４年度資金調達及び設備投資の見込みについて

第６２回 通常総会 開催

令和４年３月２６日(土)、大和平野土地改良区 大会議室において、８８会員の出席（当日出席４６会員、委任状４２会員）を得て、第６２回通常総会を開催しました。

挨拶
奥野信亮 会長

祝辞
大内毅 近畿農政局次長

祝辞
乾新弥 奈良県食と農の振興部長

ビデオレター
進藤金日子
全国水土里ネット会長会議顧問

はじめに奥野信亮 会長から、令和４年度予算が成立したこと、全国的に推進しているため池の事業の話に続き、新しい作物にチャレンジしていくこと、それを輸出していくことを含めてチャレンジできる体制整備、土づくりに精をだしていただきたい。土連を含め、成果を上げて頂いた方の表彰もありますし、皆様が納得できる畑づくり、作物づくりに知恵を絞っていただけたらと思う。この機会をとっかかりとしてどうやっていこうかと考えてもらえるよう、皆さんの健闘と総会の充実を祈念するとの挨拶がありました。

次に近畿農政局 大内毅 次長より、農業農村整備事業をはじめ、近畿農政局所管の行政への支援、協力に対するお礼を述べられました。農林水産省では、農業者の減少、高齢化、農業農村の多様性、施設の保全管理の省力化、防災減災対策といった農業農村を取り巻く課題に対応する土地改良長期計画やみどりの食料システム戦略を推進すると共に令和４年度予算の確保ができたことのお礼と職員一同、現場第一主義の考えのもと、現場の方々の意見に十分に耳を傾けるとともに皆様と綿密な連携を図りながら各種施策の推進を行うので、引き続き協力をお願いするとお祝いの言葉がありました。

続いて奈良県食と農の振興部 乾新弥 部長より、奈良県の農業農村整備事業の推進や農村事業の活性化に対する取り組みの支援に対するお礼と近年のため池の防災減災対策の一環として、ため池支援センターを開設したこと。引き続き県と市町村、土連との連携、協力、支援をお願いするとのお祝いの言葉がありました。

第１０号議案の役員の選任においては、詮衡委員会に於いて役員の選考が行われ、推薦通り可決されました。その後、新役員会において会長、副会長並びに総括監事が互選されました。

議　　事

第１号議案　令和２年度事業報告について
第２号議案　令和２年度会計収支決算書、貸借対照表及び財産目録について
第３号議案　令和３年度会計収支補正予算の専決の承認について
第４号議案　令和４年度事業計画について
第５号議案　令和４年度経費の賦課徴収について
第６号議案　令和４年度会計収支予算について
第７号議案　令和４年度役員報酬について
第８号議案　令和４年度一時借入金の限度額及び借入方法について
第９号議案　令和４年度金銭の預入先について
第１０号議案　役員の選任について

奈良県土地改良事業団体連合会　新役員名簿

役職名	氏名	その他の役職	備考
会長	奥　野　信　亮	学識経験者、衆議院議員	
副会長	上　田　　清	大和郡山市長	
副会長	中　筋　　弘	西和土地改良区理事長	
常務理事	菅　谷　義　寛	学識経験者	
理事	並　河　　健	天理市長	
理事	松　井　正　剛	桜井市長	
理事	太　田　好　紀	五條市長	
理事	森　　宏　範	三郷町長	
理事	芝　田　秀　数	曽爾村長	
理事	森　川　裕　一	明日香村長	
理事	山　村　吉　由	広陵町長	
理事	岡　下　守　正	大淀町長	
理事	金　澤　秀　樹	大和平野土地改良区理事長	
理事	下　村　雅　清	大和高原北部土地改良区理事長	新任
理事	上　田　美加子	学識経験者	新任
総括監事	東　川　　裕	御所市長	
監事	永　田　正　利	学識経験者	
監事	大　倉　康　至	倉橋溜池土地改良区理事長	新任

※ 任期　令和４年４月１日～令和７年３月３１日

土地改良事業に功績のあった方々に表彰状を授与しました！

令和４年３月２６日（土）、第６２回　通常総会にあわせて、全国土地改良事業功績者表彰、全国土地改良功労者等表彰の伝達式を行いました。

全国土地改良事業功績者表彰式は、全国土地改良大会群馬大会で開催される予定でしたが、大会のWEB開催に伴い中止となり、全国土地改良功労者等表彰式は、全土連総会にあわせて全国水土里ネット表彰式として令和４年３月に開催が予定されていましたが、新型コロナウイルスの状況を鑑み中止となったことを受けて、水土里ネット奈良で開催することになりました。伝達式では、奥野信亮会長から各賞受賞者に表彰状の授与を行いました。

令和３年度
全国土地改良事業
功績者表彰（全国大会）
全土連会長賞
藤川　保雄　様
(奈良県郡山土地改良区理事長)

第６３回
全国土地改良功労者等表彰
（全土連総会）
全土連会長賞　団体
曲川土地改良区　様
中村 明男 理事長
松村 博行 副理事長

第６３回
全国土地改良功労者等表彰
（全土連総会）
全土連会長賞　個人
松本　秀人　様
（西和土地改良区事務局長）

出席代理 中田 任輝 監事

公益財団法人 農業振興会館 令和３年度 農業振興功績者表彰式 開催

令和４年３月２６日(土)、奈良県土地改良事業団体連合会 第６２回通常総会に引き続いて、公益財団法人農業振興会館 令和３年度 農業振興功績者表彰式を開催しました。

令和３年度　農業振興功績者表彰　受賞者

優　秀　賞	葛城市	寺 田 昌 史 様
	河合町	丸 強 農 園 様
チャレンジ賞	御所市	辻 井 義 治 様
ブランド創出賞	山添村	奥 中 直 樹 様

優秀賞　寺田　昌史　様　葛城市

県内で唯一、約８０種類のハーブ栽培に本格的に取り組んでいる。仲買を通しての販路開拓の他、都市圏へは、ＳＮＳ等を通じて直売を手がける。価格設定を独自で行うことにより、単価を上げ、収益を上げることに成功。

卸先に対応した様々なハーブを生産するとともに、エディブルフラワーやマイクログリーンなどを生産し、市場を開拓。

高設水耕栽培を行い、周年栽培、安定供給と多種類栽培を実現。働きやすい環境で従業員を雇用する。

また、地元大畑営農組合においてオペレータを中心的に担い、地域の農地の耕作を一手に引き受け遊休農地の未然防止に大きく貢献している。

チャレンジ賞　辻井　義治　様　御所市

地元農家の中心的存在として秋津集落営農の組織作りに精進し、遊休農地を活用して、全国では珍しい、アフリカ原産の「カラハリスイカ」生産にチャレンジし、健康食品の原料として（株）ユーグレナと契約して販売している。

農のブランド化、耕作放棄地の有効活用を目指す「御所市６次産業化・地産地消推進協議会」の大和芋部会長に就任し、市の特産品である大和伝統野菜「大和芋」の復活、普及にチャレンジし、形が悪く市場に流通しない大和芋を有効活用した大和芋焼酎『みかけによらず』を市と連携して開発。大和芋の魅力をＰＲしている。

カラハリスイカ

大和芋焼酎
「みかけによらず」

大和芋

上段　左から

中筋受賞者会顧問
東川御所市長
福井副理事長
清原河合町長
野村山添村長
乾県食と農の振興部長
井上受賞者会会長

下段　左から

西畑農業共済組合長
辻井氏
寺田氏
奥野理事長
山下氏(丸強農園)
奥中氏
増井農業会議会長
村本奈良県農協理事長

優秀賞　丸強農園　様　河合町

１００年前に大阪柏原市より移住し、ぶどう畑を開墾した山下一族のぶどう屋としての志を継ぎ、河合町のぶどう生産の中心的な存在を担っている。

シャインマスカットをはじめ高級ぶどう２０種類を導入するとともに、ワイン用ぶどう生産にも取り組んでいる。

収益性の高い、直売に取り組み、固定客を獲得、成功を収めている。

実習者の受け入れ、新規就農に貢献。現在も担い手支援や育成に貢献している。

山下　理恵子　氏

ブランド創出賞　奥中　直樹　様　山添村

農業を引退した農家の茶畑を引き受け、耕作放棄地の未然防止に尽力。茶業農家の高齢化に対応するため、隣村の生産農家とパートナーを組み、共同事業を立ち上げ、さらに、法人化することにより、地域雇用の安定、規模拡大をすすめる。

また、茶の小売り先や加工先（菓子店）を開拓し、協力連携して茶及び、スイーツなどを商品化し、自社ブランド（『大和園』）での小売りに力を入れ、さらに売上拡大を目指し、東京など都市圏への小売り出荷にも取り組んでいる。

令和４年度　奈良県農村振興予算の概要

「奈良新『都』づくり戦略」関連施策と連携し農地マネジメントを踏まえた農地活用と豊かな農村の振興を図る

令和４年度予算額

令和４年度当初
3,076百万円
２月補正
890百万円
合計
3,966百万円

【公共事業】
・補助公共事業
1,458百万円
(2月補正740百万円)
・県単独公共事業
120百万円
・直轄事業負担金
709百万円
(2月補正150百万円)

食と農の振興部
農村振興課

主要な対策

■ １．特定農業振興ゾーンの整備
２２２百万円（２月補正２５百万円）

各ゾーンの目標達成のために、高収益作物の導入、スマート農業や新技術活用などと併せ、農地中間管理機構関連事業など、必要な基盤整備を県が事業主体となり実施。

■ ２．主要産地（リーディング品目など）の発展
５３９百万円（２月補正１３３百万円）

柿、茶、高原野菜、小菊などの主要産地のさらなる発展に向け、基盤整備を実施。

■ ３．ため池等の防災・減災対策
５２９百万円（２月補正５５３百万円）

ため池管理法（H31.7）、ため池整備特措法（R2.10）により防災重点ため池（県内969箇所）を対象に、劣化調査や改修整備と併せ管理体制の支援を実施。また、治水上危険な農業用井堰に対し、洪水を安全に流下させる対策を実施。

■ ４．農業用水利施設の長寿命化対策
８２４百万円（２月補正１７８百万円）

吉野川分水や一の木ダムなど、基幹水利施設の長寿命化によるライフサイクルコストの低減や適切な維持管理を実施。

■ ５．魅力ある農村地域づくり　５８１百万円

日本型直接支払制度、ふるさと水と土保全基金などを活用し、地域の活動組織を支援、「人・農地プラン」の実質化、６次産業化や都市農村交流等による魅力ある農村づくりを推進。

主な取組

○県営ほ場整備事業　１５３百万円
百済川向地区（広陵町）20.8ha　丹原地区（五條市）10.8ha
（実施内容）区画整理、用排水路、農道整備、高収益作物導入施設など
○県営畑地帯総合整備事業　３８百万円（補正２５百万円）
【新】法貴寺地区（田原本町）38.0ha
【新】伊那佐東部地区（宇陀市）25.8ha
（実施内容）農業水利施設の更新、ＩＣＴ水管理システムの導入など
○奈良らしい農村基盤モデル事業　３１百万円
上庄地区（平群町）、政始北部地区（宇陀市）
（実施内容）営農、農地集積、基盤整備の調査・計画

百済川向地区整備（イメージ）

○県営畑地帯総合整備事業
１４６百万円（補正３５百万円）
【柿】湯塩地区（五條市）78.2ha
栃原地区（下市町）71.2ha
（実施内容）パイプライン整備による用水供給
【高原野菜など】
大和高原南部地区（宇陀市・桜井市）85.7ha
（実施内容）貯水池やポンプの改修整備
○基幹水利施設管理事業　４７百万円
大和高原北部地区、五条吉野地区

○県営一般農道整備事業　２６０百万円
大野向渕地区（宇陀市）
西吉野賀北地区（五條市）
○県営ほ場整備事業
４６百万円
（補正９９百万円）
北村地区（奈良市）
○県営農地環境整備事業
２５百万円
曽爾地区（曽爾村）

給水スタンドの設置
（湯塩地区）

○県営ため池整備事業　１７８百万円（補正２２０百万円）
葛城山麓地区（葛城市）、桜池（斑鳩町）
高山地区（生駒市）→流域治水対策と連携し４５千m3の治水容量確保
○県営農業用河川工作物応急対策事業　１７百万円（補正１７百万円）
尼ヶ辻地区（奈良市）
○ため池防災対策・調査計画事業
３３３百万円（補正３１６百万円）
ため池管理体制支援調査（県）、ため池パトロール
ため池耐震調査、劣化調査（奈良市ほか）

仁王門池（葛城山麓地区）

奈良県ため池支援センター設置
（令和３年７月）

○農業水利施設整備・整備診断事業　１１６百万円（補正２８百万円）
農業用取水堰調査（平群町ほか）
○国営農業水利管理事業費負担金　３３百万円
大和平野地区
○国営施設応急対策事業費負担金　４４百万円
五条吉野地区

漏水状況（五条吉野地区）

水管理システム更新（白川地区）

○農村資源を活用した地域づくり事業　１３百万円
○中山間地域活力アップ事業　２６百万円
○多面的機能支払事業　２７９百万円
２３市町村２７８組織
○中山間地域直接支払事業　２６４百万円
１４市町村２９７組織

田んぼの水族館　生きもの観察会

柿の木オーナー園

令和３年度　会計相談会・研修会　開催

令和４年２月25日(金)、大和平野土地改良区3階　大会議室において、複式簿記会計システム「ミラウド」及び「ミラウドmini」を運用する土地改良区を対象に、令和３年度 会計相談会・研修会を開催しました。

会計専門家による個別の相談会では、日々の小口現金の処理方法から未収・未払に関する決算処理まで幅広く相談されました。

会計専門員による個別の相談会

ＡＤＫ富士システム株式会社の近藤様より、令和４年度からの貸借対照表の作成にあたり、年次処理・残高入力等のシステム運用に向けて、またミラウドの詳細な操作方法についての説明があった後、土地改良区の会計担当者からの質疑応答が行われました。それぞれが持参したパソコンを操作して、スクリーンに映し出したミラウド担当者の操作を参考にしながら、疑問点を解消していきました。

オンラインによる全体の説明会

いよいよ令和４年度から決算関係書類として貸借対照表の作成及び公表が義務付けられます。令和４年度も会計相談会を開催予定です。日程等が決まりましたら改めてご案内いたします。

お問い合わせ先

奈良県土地改良事業団体連合会
総務企画課

TEL:0744-29-1310
FAX:0744-29-1312

公益財団法人 農業振興会館 令和３年度最先端農業を学ぶセミナー 開催

令和４年３月２２日（火）、大和平野土地改良区３階 大会議室において、公益財団法人 農業振興会館 令和３年度最先端農業を学ぶセミナーを開催しました。

「最先端農業を学ぶセミナー」とは・・・農業分野での、担い手の減少や高齢化の進行等による労働力不足の課題を解消するため、ICT（情報伝達技術）や IoT（モノのインターネット）などの先端技術を活用した農業技術を学ぶセミナーとして、県内の農業者や農村環境に関心をよせる人を対象に開催するセミナーです。

内 容

①（講 演）「スマート農業の展開について」
講師 ： 近畿農政局 生産部 生産技術環境課 課長補佐 田村 晶

ロボット・AI・IoT等の先端技術を実際の生産現場に導入して、技術の導入による経営改善の効果を明らかにするために、全国で行われている「スマート農業実証プロジェクト」の実例や成果の紹介、農業支援サービスの推進に向けた情報提供としてパンフレットの作成、持続可能な食料システムの構築に向け策定された「みどりの食料システム戦略」の概要などについて説明をいただきました。

講師 田村 晶氏

②「IoTを利用したスマート農業の取り組みと可能性」
講師 ： 株式会社 パーシテック 代表 水尾 学

センサー・ドローン・スマートグラス等のスマート農業への取り組みをご紹介いただきました。
(株)パーシテックでは、農家の高齢化と後継者不足を解消するため、スマートグラスと遠隔システムを組み合わせ、遠隔作業による技術の伝承に取り組まれています。スマートグラスは、遠隔地にいる人と映像を共有できるカメラ付きの眼鏡です。例えば、熟練者が自宅から、新人の作業者の現場映像を確認し、その映像に直接マーキングすることで、遠隔地から収穫の指示を出すことが可能です。ドローンで撮影している映像をスマートグラスでリアルタイムで視聴したり、遠隔地からの収穫体験にも活用されています。
セミナーでは、ドローン・スマートグラスの展示、装着体験が行われました。スマートグラスに映し出された、ドローンで撮影している会議室内の映像に驚いている方や、展示品の機材を興味深く観察されている方もおられました。

講師 水尾 学氏

土地改良区紹介

大和高原南部土地改良区
- 高収益作物の生産性向上と生産拡大、品質の向上を目指して -

地域の概要

大和高原南部土地改良区は、高原野菜の産地形成が進んでいる桜井市、宇陀市に広がる大和高原南部に位置します。

国営総合農地開発事業により昭和50年度から全体設計を実施、昭和51年度から本格的に事業が開始されました。野菜を中心とした稲作との複合経営が主で畑、水田とも不整形かつ狭小で生産性が低かったものが、農地造成(畑)315.7ha、区画整理(田)241.3ha、合計557.0haの農地開発事業により農業経営の規模拡大と農地の集団化によって生産性が格段にあがりました。

また、かんがい用水の安定供給を図るための施設として、団地毎に貯水池、かんがい用ポンプ設備等を築造設置しました。本地区の標高は310m～540mあり、気候は冷涼で、古くからその自然的立地条件を生かした高原野菜の抑制栽培やハウス等の施設栽培、花木栽培の産地としての市場性が確立されています。地域の特産野菜である「笠そば」「ほうれん草」「大和まな」「小豆」「黒大豆」「トマト」「金ごぼう」「ブルーベリー」等の高原野菜を主作物にした都市近郊型野菜生産地の形成を図り、特産品振興や６次産業化を図っています。また、花きについても桜井市の「優良花壇苗」や宇陀市では全国有数の「ダリア」の産地であり、軟弱野菜、有機野菜と共に作付面積の拡大や品質の向上に努め、高収益作物の生産拡大を図っています。

県営畑地帯総合整備事業

宇陀市大宇陀
雪ケ峰団地
１７号貯水池
ポンプ更新工事

国営総合農地開発事業が昭和51年度から本格的に開始されて約45年が経過しました。農業水利施設の多くが既に更新時期を迎えており、団地毎の貯水池、かんがい用ポンプ設備等の管理に苦慮をしてきました。小規模な補修等は改良区で行ってきましたが、既に耐用年数が経過しており、計画的な更新整備が必要となりました。そこで、令和元年度から県営畑地帯総合整備事業を実施しています。

年々故障や不具合の発生頻度が多発し、営農に支障をきたすなど組合員の営農意欲の低下に繋がっていることから改良区全65団地からの要望を募り、年次計画的に工事を進めてまいりました。それにより、貯水池改修8箇所、ポンプ更新29箇所、総事業費3.5億円となり、事業を実施した地域に於いては、優良農地の営農を継続するため、奈良県農地中間管理機構とも連携し、担い手への農地集積、スマート農業の導入等により農業産出額の増大を図っております。

桜井市 嵩団地 7-2号貯水池遮水　シート更新工事

県営畑地帯総合整備事業

宇陀市 榛原 八咫烏団地

工事中

46-1号貯水池遮水 シート更新工事

工事完了

特定農業振興ゾーン伊那佐東部地区

宇陀市伊那佐東部地区特定農業振興ゾーンにおいて円滑な取り組みに資するため、令和3年2月5日に奈良県荒井知事、宇陀市金剛市長、伊那佐東部地区太田代表、大和高原南部土地改良区井上理事長は、連携及び協力に関する協定書を奈良県７例目として締結しました。

高収益作物への転換その他の施策を集中的かつ優先的に推進する区域で、県、市、地元農家が連携し、協力し、取り組むことで農地を有効活用し、農業の生産性の向上を図ります。

農地面積51.5ha、農家世帯数50戸により、高収益作物（軟弱野菜、有機野菜、ダリア等）の作付面積の拡大、品質向上と大和高原南部土地改良区と連携し、農地中間管理機構による全国レベルで優良とされる農業法人等への多様な担い手への農地集積、スマート農業の導入や基盤整備による生産性の向上を図ってまいります。

［有機野菜］

［ダリア］

奈良のため池３作品が入賞しました。

「水が伝える豊かな農村空間」～疏水・ため池のある風景～
写真コンテスト２０２２（ため池部門）

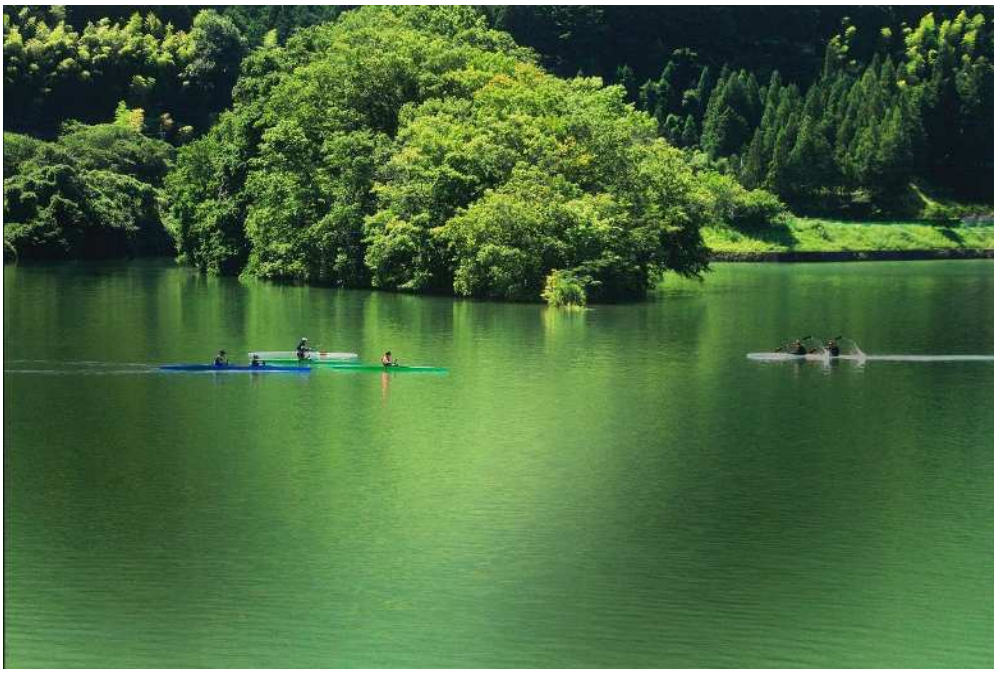
【主催】
疏水ネットワーク
全国ため池等整備事業推進協議会
全国土地改良事業団体連合会

このコンテストは、「疏水」や「ため池」が織りなす四季折々の景観や生活の様子など、身近で大切な水のある風景を題材としています。

★★★　最優秀賞　『夜明けの詩』伏見池（奈良県御所市）　芝﨑　静雄　氏　★★★

（作品は、表紙に掲載）

★　入選　★
『春待つ初冬の夕景』
川向井池
(奈良県奈良市鹿野園町)
上島　康平　氏



★　入選　★
『青春を駆ける』
倉橋のため池
(奈良県桜井市倉橋)
西村　康男　氏

令和４年度　新組織体制

- 事　務　局（局長：杉井 雅章）
  - 総務企画課　（課長：安田 尚央）
  - 支援業務課　（課長：今出　靖）
    - 農地地図情報センター
  - 技　術　課　（課長：草間 資之）
    - 奈良県ため池支援センター

◆令和4年度より新体制となります。よろしくお願いいたします。

退職者の紹介

総務企画課

主査

清水（しみず）　淳子（じゅんこ）

令和３年度末をもって
退職いたしました。
会員、関係機関の皆様には
在職中、大変お世話になりました。

●清水さんへ●

長きにわたり土連・農業振興会館の発展にご尽力いただきましたことに心からの敬意を申し上げます。細やかな気配りを忘れず、熱心にお仕事に取り組まれていた姿から多くを学びました。いつも温かくご指導いただきありがとうございました。

ご退職後のご健康とご活躍をお祈りいたします。

本当にお疲れ様でした。

(職員一同)

新規採用職員の紹介

支援業務課
兼農地地図情報センター

主査

名村（なむら）　淳（じゅん）

令和４年４月１日付で奈良県土地改良事業団体連合会に採用され、支援業務課及び農地地図情報センターに配属となりました、名村　淳と申します。

相手の言葉を傾聴することを通じて、相手の立場や気持ちを十分理解したうえで、業務に活かすことを心掛けてまいります。

前職の自治体職員としての経験を活かし、新しい分野はしっかりと学びながら、少しでも皆様のお役に立ちたいと考えております。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

支援業務課
兼農地地図情報センター

技師

堀川（ほりかわ）　元気（げんき）

令和４年４月１日付で奈良県土地改良事業団体連合会の支援業務課技師として採用されました、堀川と申す者です。

大学、および大学院では、農業土木学を専攻しており、勉強してきたことを仕事でも活かせると思い、本会を志望いたしました。

本会へは一足早く、２月よりアルバイトとして入らせていただいており、日々多くのことを学ばせていただいております。

不肖の若輩者ではありますが、何卒、ご指導・ご鞭撻のほどを、よろしくお願いいたします。

行事予定（4月～7月）		
開催月	会議･行事名	開催(予定)地
6月	公益財団法人 農業振興会館 理事会･評議員会	大和平野土地改良区
6月	令和５年度国予算にかかる政策提案･要望活動	東京都
6月	近畿の農業･農村の振興に関する提案･要望活動	京都府
6月	農業農村整備の集い	東京都
7月	奈良県土地改良事業団体連合会 監事会･決算理事会	大和平野土地改良区
※ 今後、変更する場合があります。		

● お知らせ ●

第44回
全国土地改良大会沖縄大会

第44回全国土地改良大会が開催されます。

開催日：令和4年11月22日(火)
会　場：沖縄アリーナ
沖縄県沖縄市諸見里２丁目１－１
コザ運動公園内

● 編 集 後 記 ●

１２月は、「先生（師）が走りまわるほどいそがしいから」師走というらしいですが、**私にとっての師走**は、なんと言っても３月。年度末です。その年度の集大成とも言える行事の奈良県土地改良事業団体連合会総会(P3)、農業振興会館功績者表彰式(P5-6)が行われました。昨年度から農業功績者表彰に携わり、受賞者の皆様に関わらせていただいております。市町村からの推薦を元に資料を作成し、候補者の方や市町村で担当されている方のお話を伺い、上司達と何度も打ち合わせを重ねて、審査会(P2)を迎えます。候補者の皆さんは、それぞれ農業に真摯に向き合っておられる素晴らしい方達です。お話を伺い、共感や尊敬の思いで、審査会の資料を作成しています。賞決定後も表彰式当日に配布される概要書や広報誌の原稿を作成します。紙面だけでは、なかなか伝わらない思いもあります。ぜひホームページ等をご覧いただいて、興味を持っていただければ幸いです。

さて、話は戻り、**私にとっての師走**ですが、バタバタと忙しく、時間にも心にも余裕がなくなってきます。そんな時、私は、自分を応援してくれている人の言動に救われ、普段以上に感謝の気持ちでいっぱいになります。この編集後記を書くときは、皆さん一人一人の顔を思い浮かべながら、書いています。いつもありがとうございます。

新年度がはじまりました。令和４年度も感謝の気持ちを忘れずに前向きに仕事に取り組みます。よろしくお願いいたします。（西口）